

●ローカル鉄道のパラダイス 滋賀●

折りたたまずに乗車 OK！ママチャリでも OK！のサイクルトレイン 近江鉄道は、自転車と一緒に乗れるって、ホントですか？

<ママチャリでのんびりプラン> 滋賀ならではのまち巡りとコスモス畑を楽しむ
<ガチのビワイチ派も納得プラン> 脚を温存し、走りたい場所までワープして坂と戯れる

滋賀県内には、「特色あるローカル鉄道」がたくさんあります。

今回ご紹介するのは、全国の鉄道ファンからの人気が高い近江鉄道（愛称：ガチャコン）です。
その近江鉄道が行っているユニークなサービスが「サイクルトレイン」で、自転車をそのまま電車に乗せることができます。

このサイクルトレインを利用すれば、自転車で走る → 疲れたら駅へ → 自転車ごと「ガチャコン」に乗る → 別の駅で降りてまた走るといった楽しみ方ができるのです。

シリーズ企画<ローカル鉄道のパラダイス 滋賀>

- 目次 -

ローカル線ならではの魅力の宝石箱・滋賀のローカル鉄道

折りたたまずに乗車 OK！ママチャリでも OK！のサイクルトレイン

ローカル電車に自転車を乗せて | 近江鉄道 五箇荘駅からサイクルトレインで八日市駅へ

<ママチャリでのんびりプラン>

滋賀ならではのまち巡りとコスモス畑を楽しむ

ローカル電車に自転車を乗せて | 近江鉄道 米原駅からサイクルトレインで湖東内陸の八日市駅へ

<ガチのビワイチ派も納得プラン>

脚を温存し、走りたい場所までワープして坂と戯れる

ローカル線ならではの魅力の宝石箱・滋賀のローカル鉄道

●折りたたまずに乗車 OK！ママチャリも OK！ 自転車と乗れる近江鉄道サイクルトレイン

滋賀の「特色あるローカル鉄道」の一つ、近江鉄道の「サイクルトレイン」は、日常的に自転車を電車に持ち込めるサービスです。利用可能区内であれば、びわ湖を自転車で一周する「ビワイチ（※）」用の本格的なロードバイクをはじめ、「ママチャリ」などの一般的な自転車も電車運賃のみで持ち込むことができます。

今回はサイクルトレインだからできる「滋賀を満喫できる2つの自転車旅」を紹介します。

※ビワイチとは？

自転車で琵琶湖を一周するサイクリングの愛称。約 200km のルートを走りながら、湖岸の景観や滋賀のまち、歴史、食などが楽しめます。国の「ナショナルサイクルルート」にも指定されています。



【サイクルトレイン利用可能区間】



<本線> 米原～貴生川間（彦根駅は利用不可）

<多賀線> 高宮～多賀大社前

※八日市線の新八日市～近江八幡駅間は利用不可

※大規模イベントや年末年始などの混雑時には、持ち込みが制限される場合もあります

【近江鉄道 ー広い湖東を結び、地元住民の生活路線となっているローカル鉄道】

【営業キロ】 59.5km

【駅数（うち終日無人駅）】 33 駅（29 駅）

【1日あたり利用者数概算】 約 13,000 人／日程度

【特徴】

- ・米原、彦根、八日市、貴生川、近江八幡など、県東部一帯の地元の生活路線
- ・独特の走行音から、地元では「ガチャコン」という愛称で親しまれる。この走行音も全国の鉄道ファンから人気を博している
- ・西武グループ系列で、かつて首都圏の西武鉄道で活躍した車両が移籍しているため、「元西武車両の博物館」とも呼ばれる
- ・単線、田園風景、文化財級の古い駅舎など、ローカル線ならではの風景がひろがる
- ・全国的にも珍しい「上下分離方式（公有民営）」」。線路などのインフラは沿線自治体が保有、運行は近江鉄道



300形／西武 3000 系を改造



800形／西武 401 系を改造

ローカル電車に自転車を乗せて | 近江鉄道 五箇荘駅からサイクルトレインで八日市駅へ
 <ママチャリでのんびりプラン> 滋賀ならではのまち巡りとコスモス畑を楽しむ

●自転車で「信長のまち・安土」を駆け、「近江商人のまち・五箇荘」を巡り、70万本のコスモス畑へ

一つめのサイクルトレインを利用した自転車旅は、ママチャリをのんびりこぎながら湖東を巡るプランです。

1日で、「信長の安土」→「近江商人の五箇荘」→「サイクルトレイン」→「愛東の田園」と、湖東の魅力を満喫できます。



時刻目安	移動手段	行程	距離&所要時間の目安
～8時45分	JR	JR 安土駅着／駅前でレンタサイクルを借りる	※駅周辺にレンタサイクル店あり (営業時間・料金は要確認)
9時ごろ	自転車	JR安土駅出発→安土城跡周辺を経て→五箇荘方面へ移動	JR安土駅→五箇荘金堂町まで約7km
10時ごろ	↓	五箇荘金堂町界隈到着 町並みや近江商人屋敷巡り	
11時ごろ	↓	近江鉄道五箇荘駅へ移動	近江商人屋敷→五箇荘駅約3Km
11時30分ごろ	近江鉄道	近江鉄道五箇荘駅着→サイクルトレイン→近江鉄道八日市駅へ	近江電車で約7分(発車時刻は要確認)
12時ごろ	自転車	近江鉄道八日市駅着→あいとうマーガレットステーションへ	八日市駅 →あいとうマーガレットステーションまで約10km
13時ごろ	↓	あいとうマーガレットステーション着 昼食＋コスモス鑑賞	
15時ごろ	自転車	近江鉄道八日市駅へ出発	あいとうマーガレットステーション →八日市駅まで約10km
16時ごろ	近江鉄道	近江鉄道八日市駅→サイクルトレイン→近江鉄道五箇荘駅へ	近江電車で約7分(発車時刻は要確認)
	自転車	近江鉄道五箇荘駅→JR安土駅に向けて移動	五箇荘駅→JR安土駅約9Km
～17時	↓	JR安土駅到着／レンタサイクル返却	



道の駅 東近江市あいとうマーガレットステーション

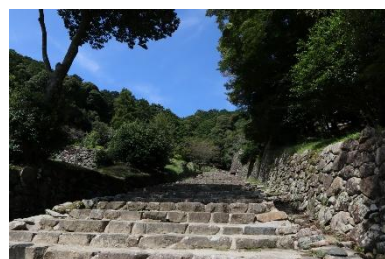
季節ごとに花が替わるのが、この道の駅の名物。春は菜の花、夏はラベンダー、秋には約70万本のコスモスが咲きそろい、風にゆれます。時期によっては花摘み体験もできます。

出発は JR 安土駅です。安土は近江八幡市がレンタサイクルでの観光を推しているエリアで、他駅に比べるとレンタサイクルの台数や車種も充実。ママチャリだけでなく、電動アシスト車もレンタルできます。



信長像が迎える JR 安土駅前。そのすぐ後ろにはレンタサイクルショップも

まずは、安土城跡界隈を自転車で巡ります。ただし、安土城跡に登ってじっくり見学すると、後ろの行程がせわしなくなるため、ここは欲張らずに「信長のまち・安土」の風を感じながら駆け抜けるぐらいにとどめておきましょう。



安土城跡

そのまま五箇荘方面へ。ここは「近江商人のまち」で、「近江の原風景」と呼ぶのにふさわしいまちです。国の重要伝統的建造物群保存地区で、日本遺産にも認定されている五箇荘金堂町の白壁、舟板塀、水路を泳ぐ錦鯉、近江商人屋敷など、写真映えスポットがたくさんあります。



五箇荘金堂町の町並み（国の重要伝統的建造物群保存地区／日本遺産）

そして、近江鉄道五箇荘駅から、サイクルトレインで自転車と一緒に近江鉄道八日市駅へ。乗車距離は約4.4km。自転車なら走れてしまう距離ですが、ここはあえてサイクルトレインそのものを楽しんでください。



<左>五箇荘駅 <右>八日市駅

近江鉄道八日市駅を下車したら、ここから約10Km、愛東エリアの田園風景を右に左に眺めながら、「道の駅 東近江市あいとうマーガレットステーション」へ。そこで待っているのが、約1万㎡に約70万本が咲きそろう「コスモス園（2026年は10月15日～11月上旬予定）」です。赤・白・ピンク・オレンジのコスモスが風に揺れるのどかなひと時を過ごしたら帰路へ。ここでも、近江鉄道八日市駅から近江鉄道五箇荘駅間はサイクルトレインを楽しんでください。



愛知川から琵琶湖方面を望む

【コラム】

●道の駅 東近江市あいとうマーガレットステーション 滋賀の野菜や果物、地元グルメを満喫！農業・観光交流型の道の駅

国道307号沿いにある、農産物直売所、飲食店、花畑などを備えた農業・観光交流型の道の駅。東近江市産100%の農産物が並ぶ「あいとう直売館」、地元の果物・野菜を使ったジェラートが人気の「Rpty（ラプティ）」などが入っています。秋には約70万本のコスモスが咲きそります。



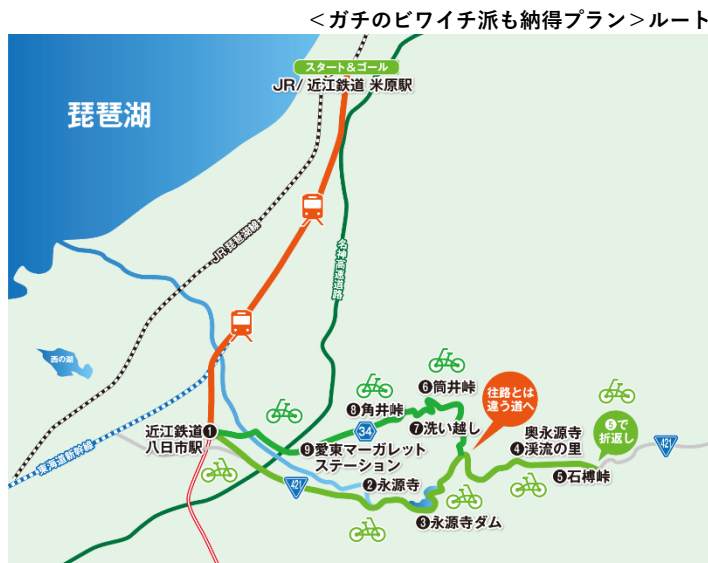
ローカル電車に自転車を乗せて | 近江鉄道 米原駅からサイクルトレインで湖東内陸の八日市駅へ
 <ガチのビワイチ派も納得プラン> 脚を温存し、走りたい場所までワープして坂と戯れる

●電車で湖東の内陸駅へ、標高約 690m の石榑峠^{いしぐれ}を最高地点に、筒井峠^{かくい}、角井峠の 3 峠を攻める

二つめのサイクルトレインを利用した自転車旅は、「ガチのビワイチ派」も納得できる本格的なロードバイクの旅です。

行きも帰りも平地は「ガチャコン」のサイクルトレインに任せ、湖東内陸の鈴鹿山脈の 3 つの峠（石榑^{いしぐれ}峠・筒井峠・角井^{かくい}峠）で、サイクリスト垂涎のアップダウンが楽しめます。

ビワイチは琵琶湖畔約 200Km を走りますが、こちらは内陸部・厳しい山岳路を楽しむロードバイクの旅。ビワイチとは一味違う中～上級者向けコースです。



時刻目安	移動手段	行程	アップダウン&所要時間の目安
～9時ごろ	JR	JR米原駅着	※米原駅サイクルステーションを利用する場合には、営業時間は9時から
～9時30分ごろ	近江鉄道	近江鉄道米原駅→サイクルトレイン→近江鉄道八日市駅	近江電車で約63分（発車時刻は要確認）
～10時30分ごろ	↓	近江鉄道八日市駅着／ライドSTART	
～11時15分ごろ	ロードバイク	愛知川～永源寺	平地～緩い登り
～11時15分ごろ	↓	永源寺	
～11時40分ごろ	↓	永源寺ダム登坂	
～11時40分ごろ	↓	永源寺ダムで休憩	5分程度
～12時5分ごろ	↓	奥永源寺溪流の里	
～12時15分ごろ	↓	休憩・補給	10分程度
～13時ごろ	↓	石榑峠へ	メインクライム 石榑峠標高 約 690m
～13時5分ごろ	↓	休憩	5分程度
～13時30分ごろ	↓	奥永源寺溪流の里	下り
～13時40分ごろ	↓	休憩・補給	10分程度
～14時10分ごろ	↓	惟喬親王御陵・筒井峠へ	筒井峠標高 約 410m
～14時30分ごろ	↓	洗い越し	洗い越し標高 約 490m
～14時55分ごろ	↓	角井峠へ	後半の登り 角井峠標高 約 540m
～15時20分ごろ	↓	愛東方面へ	下り基調
～15時30分ごろ	↓	あいとうマーガレットステーションで休憩・補給	10分程度
～16時ごろ	↓	近江鉄道八日市駅着／ライドGOAL	
	近江鉄道	近江鉄道八日市駅→サイクルトレイン→近江鉄道米原駅	近江電車で約63分（発車時刻は要確認）
～17時30分ごろ	↓	JR米原駅着	※米原駅サイクルステーションを利用する場合には、営業時間は～17時まで

※このコースプランは、東近江市観光サイト【サイクリングルートB】ビワイチルートから石榑峠～筒井峠～角井峠ヒルクライムコースを参考にしてコース設計しています。 <https://www.higashiomi.net/media/asobu/a470>

※近江鉄道も「ガチャRIDE!」として、ひこね芹川駅から愛知川駅まで自転車ごと鉄道で移動するサイクルトレイン活用コースを展開しています。 <https://www.ohmitetudo.co.jp/railway/fan/gacharide/>

スタートは米原駅。近江鉄道米原駅から、自転車ごと電車に乗って近江鉄道八日市駅へ。八日市駅を降りたら、愛知川（えちがわ）を遡って鈴鹿方面へ。



<左>近江鉄道米原駅 <中>近江鉄道八日市駅 <右>愛知川から鈴鹿山脈方面を望む

ガチャコンで温存した脚で、初めにめざすのは永源寺。そして永源寺ダムのだま湖のほとりを駆けあがります。道の駅 奥永源寺溪流の里に到着したら休憩。いよいよ標高約 690m の石樽峠へ。



<左>永源寺参道に続く橋から奥永源寺を望む <中>永源寺 <右>永源寺ダム

<左>永源寺参道に続く橋から永源寺ダム方面を望む <中>永源寺 <右>永源寺ダム



<左>道の駅 奥永源寺溪流の里 <中>石樽峠へと続く坂道 <右>石樽峠。遠くには三重県いなべ市のまちがひろがる

峠からの眺望を楽しんで一息ついたら、来た道を駆けおりて、次なる筒井峠（標高約 410m）へ。



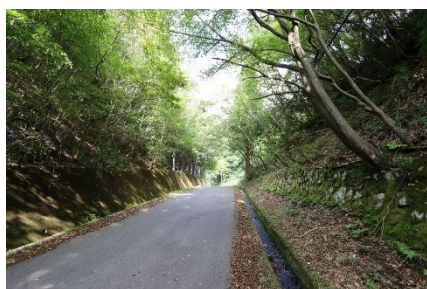
<左>筒井峠へ向かう途中のつづら折りの坂道 <中>筒井峠 <右>峠には惟喬親王（これたかしのう）御陵がある

次は、洗い越し（標高約 490m）と角井峠（標高約 540m）をめざします。



洗い越し

洗い越しとは、橋を架けたり土管などを埋めて道路下に水路をつくったりすることなく、川や沢の水がそのまま道路の上を流れるようにした構造。ここは、関西で有名な洗い越しの一つ。ツーリングやドライブの隠れた名所として知られている



角井峠

古くから湖東平野と鈴鹿山地を結ぶ交通の要所。「湖国百選 街道編」にも選定されている。約 3km にわたって斜度 15% 前後の急勾配が続く過酷なルートで、達成感も抜群。ヒルクライマーの間ではタフな難所として知られている

● 帰りの平地もガチャコンで！ 山岳ライドで疲れた脚をいたわる

角井峠を越えれば、帰り道へ。愛東方面までのなだらかな下りを、田園風景を楽しみながらポタリング。近江鉄道八日市駅までたどり着いたら、サイクルトレインで米原へ。ガチャコンが山岳ライドで疲れた脚をいたわってくれます。



角井峠を下って愛東の田園へ

【コラム】

● 米原駅サイクルステーション（米原駅東口）

ビワイチをはじめ、滋賀を自転車で巡る旅のスタート＆ゴールとして利用可能

「ビワイチ」をはじめ、滋賀県内をロードバイクで巡る出発・帰着拠点として、レンタルやサイクリングに関する情報提供を行っています。

米原駅は JR 東海道新幹線・東海道本線・北陸本線と近江鉄道が接続しているため、ここを出発・帰着地点とすれば、遠方から来ても自分好みの滋賀の自転車旅を組むことができます。

【場所】 JR 米原駅東口 1 階

【営業時間】 9:00～17:00（貸出・返却とも原則この時間内）

【定休日】 原則毎週水曜日（冬季休業や臨時休業あり）

【レンタル可能車種】 クロスバイク、ロードバイク、キッズバイクなど。（一般的な「ママチャリ」はなし）

